

(読売新聞調べ)

医療機関名	脳梗塞			くも膜下出血の 新規入院 (件)	脳出血の新規入院 (件)
	新規入院 (件)	脳血栓溶解療法 (件)	血栓回収療法 (件)		
新潟					
桑名	647	15	32	160	48
新潟脳外科	561	18	7	145	37
三之町	358	6	7	75	21
県立新発田	316	19	33	126	43
新潟市民	303	44	40	100	53
立川総合	280	16	42	60	49
上越総合	228	17	0	46	17
魚沼基幹	209	11	3	85	29
新潟大	120	9	10	30	22
富山					
県立中央	302	12	16	84	28
市立富山市民	276	4	8	73	16
済生会富山	239	26	15	72	19
富山赤十字	220	21	8	69	17
高岡市民	183	4	0	55	9
市立砺波総合	178	15	6	91	19
済生会高岡	99	3	0	34	0
富山大	83	4	9	45	21

全国の調査結果は21日の「安心
心の設計面」に掲載しました。

病院の実力

～新潟編 175

顔、手、言葉に異変 119番を

脳卒中

今回は、脳卒中を取り上げる。脳の血管が詰まる「脳梗

塞」と、出血を起す「脳出血」とくも膜下出血」の総称で、年間約30万人が発症する。一覧表では、2021年の治療実績を示した。脳梗塞は、脳卒中の3分

の2を占める。近年、二つの治療が普及し、救命率の向上や後遺症の軽減につながっている。「tPA」という点滴薬で、血管に詰まった血栓を溶かす「脳血栓溶解療法」と、太ももの付け根の血管から脳まで細い管（カテーテル）を入れ、血栓を取り除く「血栓回収療法」だ。いずれも発症から早期の患者が対象だ。

脳卒中の治療は、一刻を争う。顔の片側のゆがみ、左右

いずれかの腕に力が入らな
い、ろれつが回らないなどの
初期症状に早く気づくことが
重要だ。顔（Face）、手
（Arm）、言葉（Spee
ch）に急な異変が一つでも

負担少ない血管内手術



立川総合病院 脳神経外科
阿部博史 主任医長・副院長 65

認定条件である「脳卒中相談窓口」の設置を9月に完了し、医療相談だけでなく、介護や行政手続きなど生活に関する悩みも受け付けているので、安心して訪れてもらいたい。

当院では、頭を切る脳外科手術よりも入院期間が短く患者の負担が少ない血管内手術を積極的にやっている。脳神経外科で昨年実施した手術は286件で、そのうち211件が血管内手術だった。

血管内手術には、脳血栓回収療法のほか、脳動脈瘤の中に柔らかいプラチナのコイル

治療体制が充実しており、地域医療の中枢を担う施設として日本脳卒中学会から「二次脳卒中センター（PS-C）コア」に認定されている。19番してほしい。